

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路維持補修事業			会計	款	項	目	大	小
				01	08	02	02	01	51
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	道路管理課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	鈴木 和男				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市が認定、供用を開始し、管理している道路	意図	道路及び付属施設等の機能の劣化又は破損等に対応した適切な補修・改善を実施し、道路構造等を適切な状態に維持保全する。
事業内容	・舗装補修、道路側溝の補修又は改修（一部新設を含む）、その他、道路付属施設の補修（一部新設を含む）の実施を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	・昭和42年、市政発足とともに開始。道路の維持補修事業は、車両保有台数・交通量の増加とともに、道路利用者の安全性確保のため将来にわたって継続する問題であるが、近年は宅地開発の進展等による道路の飛躍的延進に伴う管理延長拡大に対応した情報収集の迅速化のほか、高齢化の進展に伴うバリアフリー対応への比重が増しつつある。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	道路舗装補修延長	3,266	5129.90	1686.40	m	↑↑↑	道路補修工事を実施した総工事延長
	情報処理件数	796	444	440	件	↓↓↓	市民及びパトロール等による情報処理件数
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・近年の交通量増加に伴い、路面等の補修は他の工事現場と合せて発注するなど経費の節減に努めている。 ・二次的災害を防ぐ為、速やかに小破修繕工事に対応している。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		203,185,800	349,552,417	216,168,475			
事業費(b)(円)		184,144,800	332,084,917	198,895,310			
うち一般財源		184,144,800	222,673,867	198,895,310			
職員給与費(c)(円)		19,041,000	17,467,500	17,273,165			
人役・職員(人)		2.50	2.50	2.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		1.00					
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	・老朽化の著しい道路及び付属施設等の補修工事を実施する。
今年度(H26)に実施した取り組み	・区画道路の路面性状化調査を実施することにより、道路の破損状況を把握した。

取り組みの課題	・道路補修に関する苦情、要望は減少傾向にあるが、解決困難な苦情が増加傾向にある。
今後の改善計画	・路面性状調査を実施し、道路補修計画を作成する。 ・道路補修計画に基づく、道路補修を推進する。